



【戦評シート】男子決勝

平成28年 11月20日 (日)	協会名 :	秋田県 バスケットボール協会																								
場 所 : CNAアリーナ Aコート	記入者 :	菊地一成・増田 良																								
チームA 山 王	59	<table border="0"> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>15-11</td> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">48</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">}</td> <td>チームB</td> </tr> <tr> <td>11-13</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td>13-9</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td>20-15</td> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table>	}	15-11	}	48	}	チームB	11-13	}	}	}	}	}	13-9	}	}	}	}	}	20-15	}	}	}	}	}
}	15-11	}		48				}	チームB																	
	11-13								}						}	}	}	}								
	13-9									}	}	}	}	}												
	20-15		}		}	}	}												}							

スターター	チームA : #4, #5, #6, #8, #11
	チームB : #4, #5, #6, #7, #12
ディフェンス (試合開始時)	チームA : <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB : <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、開始早々、大館東が#5の3Pで先制する。山王はオールコート、大館東はハーフコートのディフェンス。山王は#6のレイアップで入れ返す。さらに#6、#11のコンビネーション、#11の4本のフリースローなどで得点を伸ばす。大館東は#4のドライブや#5、#7の得点で応戦する。15対11で山王が4点をリードして第1ピリオド終了。

第2ピリオド、大館東が#5や#12の3Pで得点するが、山王は#5のドライブ、#6のリバウンドシュートやジャンプシュートなどで得点し、じわりじわりと点差を広げる。残り2分4秒、#6のローポストからの1対1が決まり、26対19と山王がリードしたところで、大館東はタイムアウトを請求する。タイムアウト後、大館東は#5の3P、#7のリバウンドシュートで点差を詰め、26対24の山王2点リードで前半終了。

第3ピリオド、どちらもミスが目立ち、膠着状態が続く中、大館東は#6インターセプトからのレイアップで同点、#4がパスを受けてからのレイアップを決めて逆転する。5分間得点のなかった山王は#6のリバウンドシュートですぐに追いつく。さらに#5がドライブからのレイアップシュートがバスケットカウントとなり、1スローも決めて再びリード。その後、#6のタップシュート、リバウンドシュート、#11へのアシストなどで点差を広げ、39対33の山王6点リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、開始早々、山王#6の3Pが決まる。その後も#11のリバウンドシュート、#5のドライブ、#11のポストプレーなどで加点し主導権を握る。大館東は、#12の連続3P、#7のゴール下などで応戦するが、少しずつ点差が開いていく。最後は山王が冷静にゲーム運び、59対48で試合終了。

山王が3年ぶり3回目の優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。